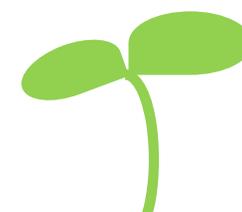


これから始める 農業講座



1. 農林業センサスの結果により危機的状況が露呈

2015年から2020年の5年間の比較

農業経営体全体	2620人 → 1297人	▲1323人	▲50.5%
40歳未満	80人 → 16人	▲64人	▲80.0%
40 ≦ 64歳	724人 → 421人	▲303人	▲41.9%
65歳以上	1816人 → 860人	▲956人	▲52.6%
1戸あたり耕地	2.96ha → 4.07ha	1.11ha	137.5%

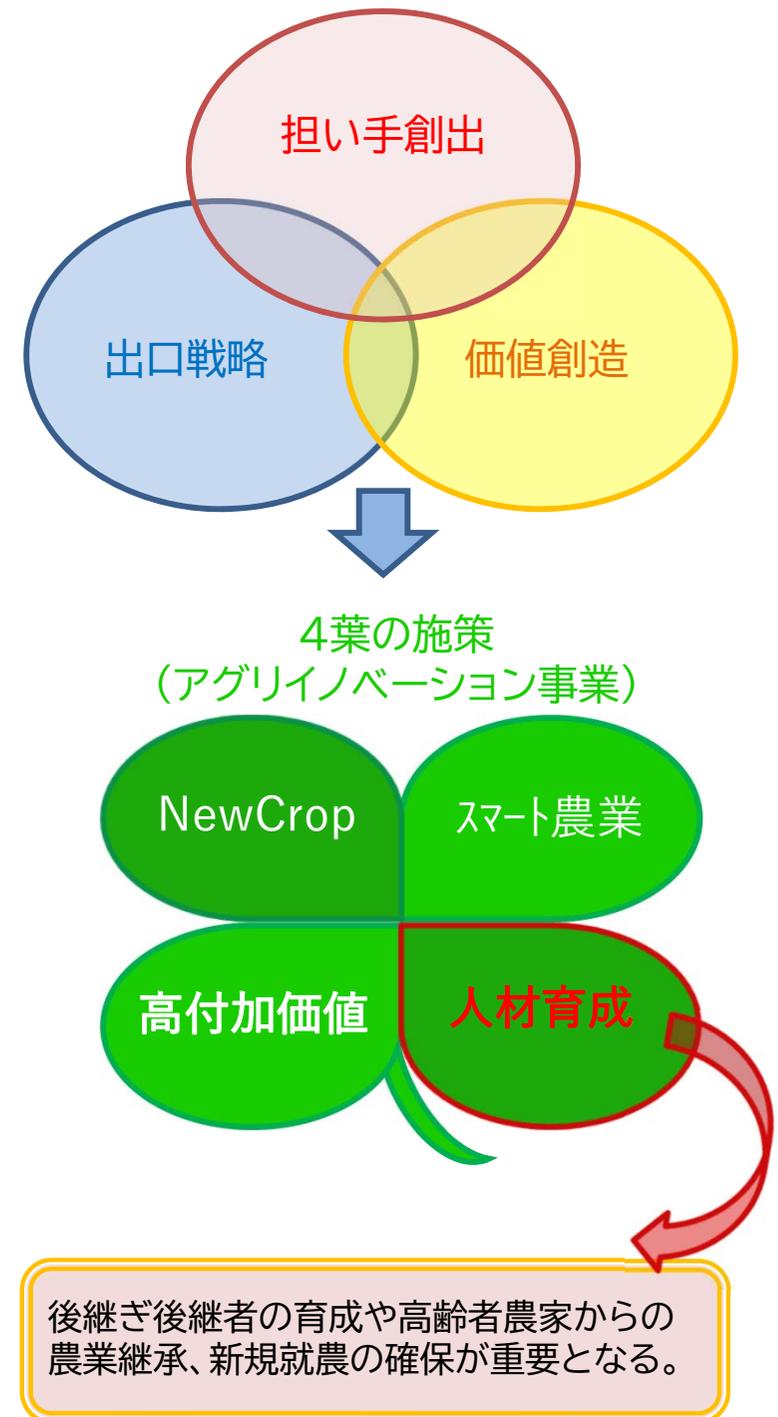
※離農・高齢化・人口減少により、担い手や新規参入がおらず、農地集約が必要

2. 市民が必要とする農業課題

2020年「あなたが採点する行政の通信簿」より

- ①担い手不足の改善
- ②大館ブランド強化
- ③マーケティング重要性

大胆な施策展開



持続可能な経営、担い手確保、出口チャンネル開拓が必要

農業をはじめするには？

あなたは、どの農業を目指しますか？

① 農業経営者として就農

リスクが高い 会社の社長

② 雇用型就農

リスクは低い サラリーマン

③ 自家消費農業

リスクなし 市民菜園や自宅の庭

①農業経営者として就農

【メリット】

- ・自分の思い描く農業を実施できる
- ・農作物の販売額が収入に直結
- ・こだわりの作物や加工品などもできる

【デメリット・リスク】

- ・しっかりとした知識、経験が必要
- ・高価な農業機械や施設、資材費の経費負担
- ・明確な将来農業に対するビジョン、プラン必要
- ・自ら農作物の販売先を確保が必要
- ・資金の確保

②雇用就農

【メリット】

- ・ 農業法人や大規模個人農家へ就職
- ・ 農業機械の運転技術や通年による作物栽培のノウハウを経験
- ・ 設備費用などの投資リスクはない

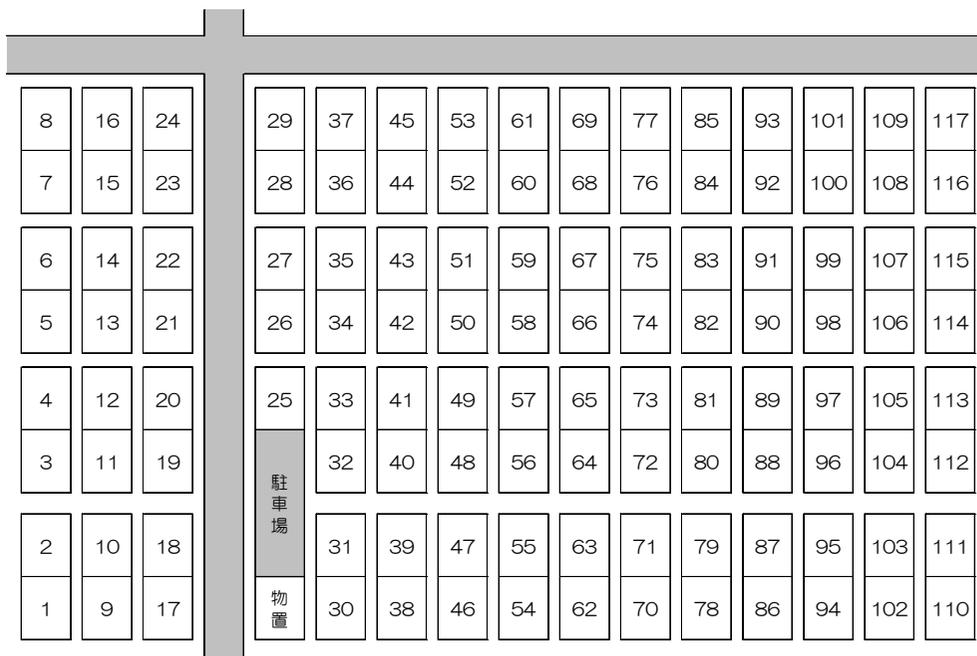
【デメリット・リスク】

- ・ 自分のやりたい農業はできない
- ・ 経営者との関係性
- ・ 賃金

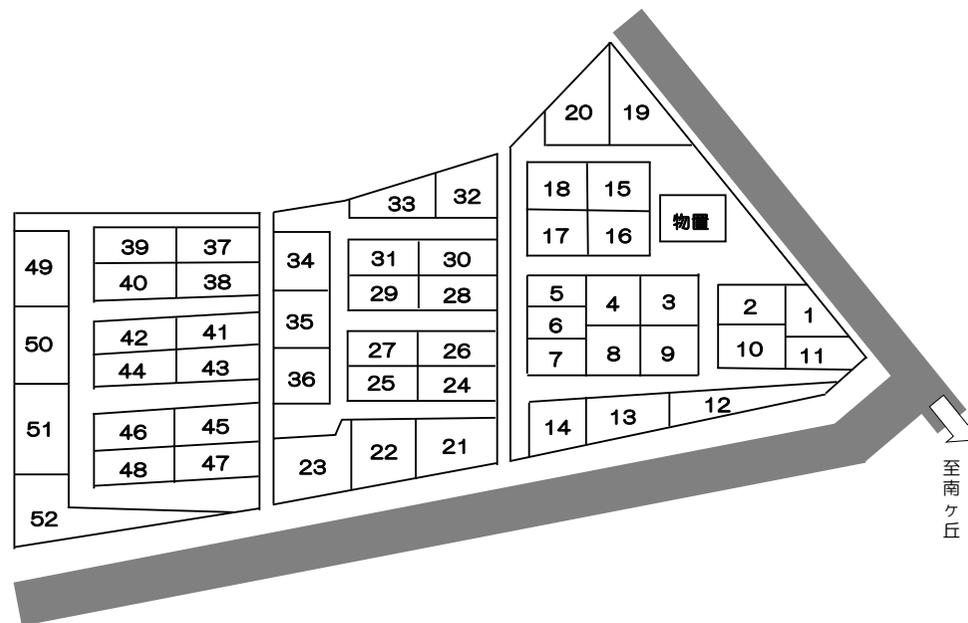
③ 自家消費農業（市民菜園）



有浦菜園区画図



南ヶ丘菜園区画図



◇ 有浦菜園 117区画（80区画）

◇ 南ヶ丘菜園 52区画（20区画）

1区画 年額2,000円 30~50㎡

※複数区画の利用も可能

※堆肥ヒナイドリームも提供

県・市の新規就農の支援制度

【秋田県・大館市が伴走】

- ・ 就農準備基礎講座・農業経営者研修
- ・ 未来農業のフロンティア育成研修
- ・ 次世代農業経営者ビジネス塾
- ・ 農業普及所の普及員・JA等とともに営農計画の立案
- ・ 農地のあっせん

【補助金】

- ・ ミドル就農者経営確立支援事業
50歳以上60歳未満の認定農業者 120万円×3年間
- ・ 夢ある園芸、畜産支援事業
ハウス等施設、機械設備補助 1/2～5.5/12
- ・ スマート農業機器導入支援（大館市）
ICT活用、省力化機械設備 1/2 上限200万円

農業とお金

出典：秋田県就農支援マニュアル(秋田県農林政策課)

図-2 就農時に苦労した点（複数回答）

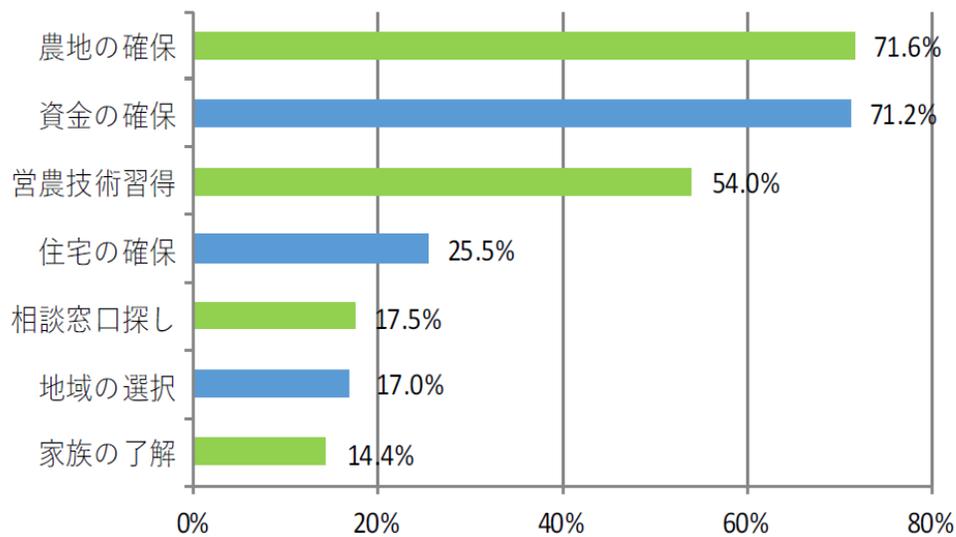


図-6 農業所得で生計が成り立っている？

(経験年数別)

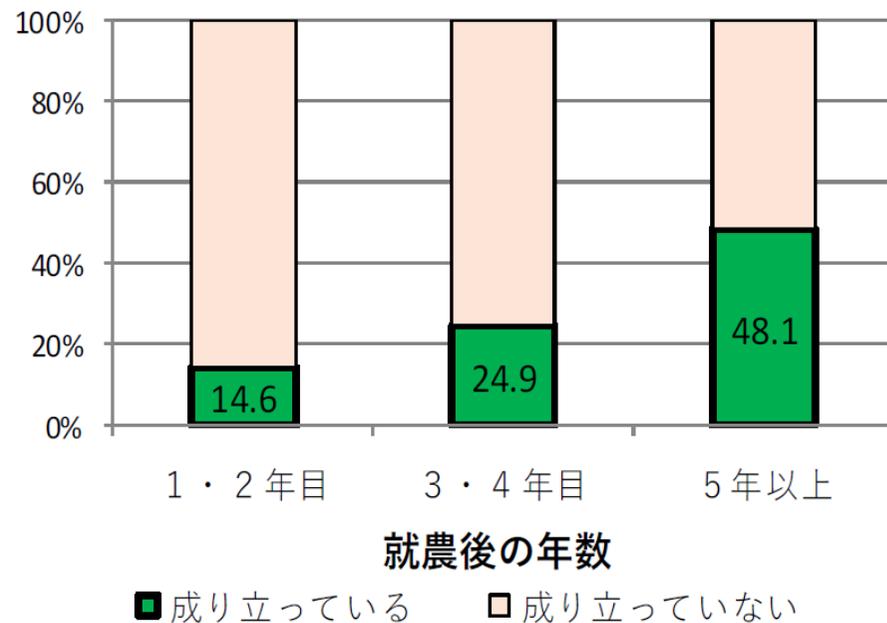
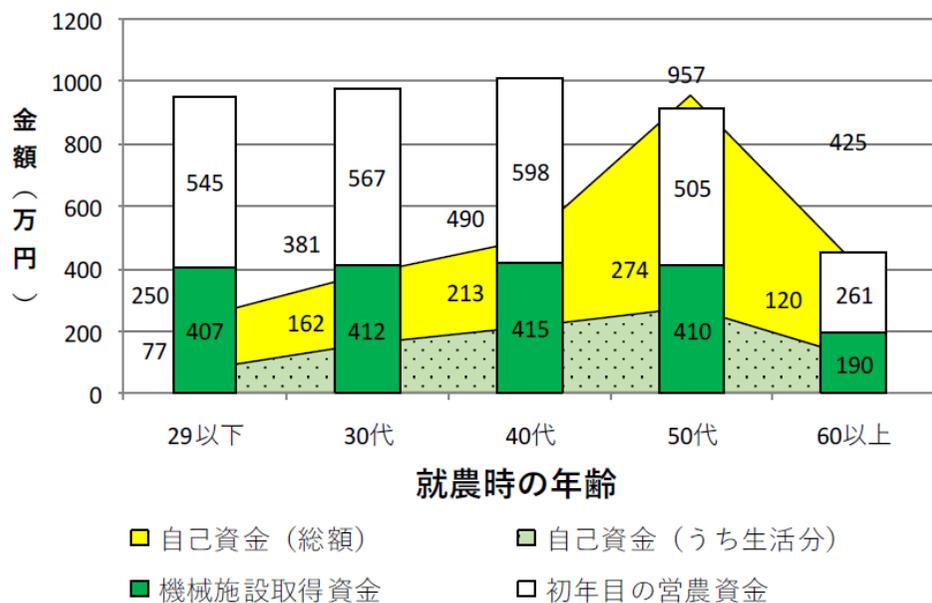


図-3 「就農に要した費用」と「就農時の自己資金」



【参考】 就農に要した費用（経営作目別）

単位：万円

作 目	水稻・大豆等	露地野菜	施設野菜	花き・花木	果 樹	酪 農	その他畜産
機械施設等取得費用	412	216	636	577	256	1,712	654
1年目の営農資金	144	103	190	186	104	762	766
合 計	556	319	826	763	360	2,474	1,420

※経営作目によって、必要な資金額は異なります。

資金の確保や安定した収入の確保が必要となります。

新規就農者の多くは、冬季間のアルバイトも兼業している人が多い。

お勧めする作物

出典:秋田ではじめませんか農業を(公益社団法人秋田県農業公社)

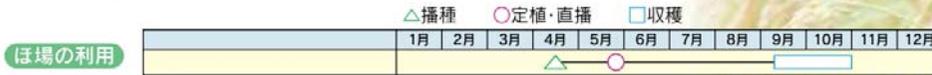
圧倒的な労働時間

水稲

主な産地 秋田県全域

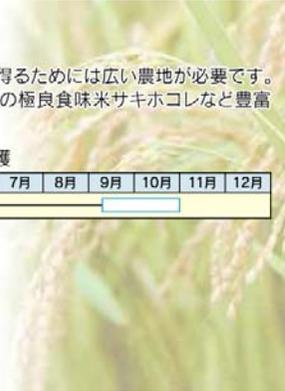
おすすめのポイント

- 田植えや稲刈りなど、主要な作業は機械化されています。収益を得るためには広い農地が必要です。
- 主力品種あきたこまちを中心に、令和4年にデビューした新品種の極良食味米サキホコレなど豊富な品種ラインナップがあります。



収益性 (10aあたり)

項目	移植(10ha規模)	直播(10ha規模)
●収穫量	570kg	540kg
●粗収益	13万円	12万円
●年間所要労働時間	16時間	14時間
●期待所得	4.1万円	4.1万円
	(10haで410万円の所得)	(10haで410万円の所得)



アスパラガス

永年作物

主な産地 北秋田・山本・由利・仙北・平鹿・雄勝

おすすめのポイント

- 収穫は2年目からで、株管理を徹底すると10年以上の収穫が可能です。
- 軽量のため、女性や高齢者の方々にも取り組みやすい品目です。



収益性 (10aあたり)

●収穫量	800kg
●粗収益	93万円
●年間所要労働時間	304時間
●期待所得	30万円



※収穫は2年目～

市場で人気。施設は更に反収増

ねぎ

主な産地 山本・秋田・仙北・雄勝

おすすめのポイント

- 春どりから秋冬どりまで、多様な作型があるため、年間を通した収入が得られます。
- 収穫後の皮むきや選別、結束などに時間がかかるため、機械化で省力化を図ります。



収益性 (10aあたり)

●収穫量	3,200kg
●粗収益	104万円
●年間所要労働時間	241時間
●期待所得	38万円



きゅうり

安定した収益性

主な産地 鹿角・北秋田・平鹿・雄勝

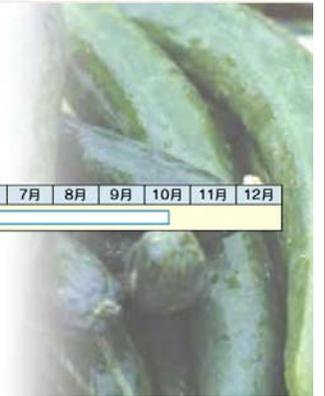
おすすめのポイント

- 安定した需要があり、野菜の中でも収益性の高い品目です。
- 耕土が深く排水のよいところであれば、土壌は特に選びません。
- 施設が無くても栽培できます。



収益性 (10aあたり)

●収穫量	10,000kg
●粗収益	260万円
●年間所要労働時間	1,077時間
●期待所得	142万円



施設での長期間収入

トマト

主な産地 鹿角・仙北・平鹿・雄勝

おすすめのポイント

- 多様な品種があり、客層に応じて品種選定することで、販路拡大が期待できます。雨よけ施設が必要です。



収益性 (1000㎡あたり)

●収穫量	10,000kg
●粗収益	305万円
●年間所要労働時間	910時間
●期待所得	115万円



すいか

小玉スイカが人気。単価が高い

主な産地 平鹿・雄勝

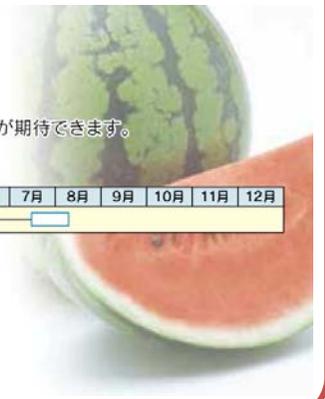
おすすめのポイント

- 大規模栽培が比較的容易で、経営の柱になる品目です。
- 作型を組み合わせることによって、労働時間の分散と所得向上が期待できます。



収益性 (10aあたり)

●収穫量	5,460kg
●粗収益	100万円
●年間所要労働時間	144時間
●期待所得	51万円



新規就農へのステップ（まとめ）

1. 情報・基礎知識を収集
2. 農作業体験、経験
3. 農業のリスク、お金、労働を理解
4. 家族の理解、生活が変化を決断
5. やりたい農業のビジョン、資金、スケジュール
6. 各種研修や勉強、栽培技術と基礎知識
7. 5年先の営農計画作成「青年等就農計画」
8. 農地借地、機械購入・借上、補助金等の確保

工藤祐次さん・寿美礼さん



屋号：OHANA farm (オハナファーム)

作付品目：主にネギ、キャベツ、ブロッコリー、トマト、ジャガイモ、サツマイモ、ダイコンなど

作付面積：約2ha

▶就農するまでの経緯を教えてください。

祐次さん 私は岩手県出身なのですが、岩手県の農業短大で妻と出会い、結婚後は妻の生まれ故郷である大館で就農しました。

寿美礼さん 祖父母が農業をされており、その姿を幼い頃から近くで見してきました。2012年に帰省し祖父の側で2～3年農作業を教わったあと、受け継いだ農地で夫婦で農業を始めました。2018年からは屋号を「OHANA farm」とし、JAの他に道の駅や直売所、飲食店や旅館などにも野菜を卸し始めました。野菜は、農薬や除草剤を使わずに育てています。

▶お二人が大切にしていることは何ですか。

祐次さん OHANA farm を始めて間もない頃、直売所に野菜を卸す作業をしていた時に、お客さんに野菜のこだわりについて聞かれ、何も答えられなかったことがショックだったんです。それがきっかけで作物の育て方について考えるようになり、農薬を使わないことをうちの野菜の特徴にしようと決めました。

寿美礼さん 就農当時から、SNSの発信に力を入れています。見ている方に農業の楽しさを知ってもらえたら嬉しいです。



▶やりがいを感じるのはどんな時ですか。

祐次さん 試行錯誤を続けて、うまくいった時が嬉しいです。農薬を使わない栽培は時間も手間も通常の倍以上かかるのですが、野菜はやっぱり美味しいんです。難しいからこそ、そこにやりがいや楽しさを感じます。

▶就農を考えている人へ、メッセージをお願いします。

寿美礼さん 我が家は夫婦ふたりで経営していますが、気を遣わなくて良いし、お互い仕事を頼みやすいですね。1日の仕事が終わった後、家でも畑の話をしています。子どもとの時間も作りやすいと感じています。

祐次さん 農家ごとにいろんなチャレンジができて、答えがないから好きなようにできるのが楽しいです。こだわった分、いいものができるので、それがやりがいにつながっています。



富樫収さん



屋号：収農花（しゅうのうか）

作付品目：キャベツ、ダリア、スナップエンドウ、
オクラ、小玉スイカ、ほうれん草など

作付面積：30 アール

就農年：2015年



▶就農のきっかけを教えてください。

私は大館出身なのですが、学校卒業後、東京でITエンジニアをしていました。エンジニアだった社員時代、スマート農業を導入する農家さんのシステム作りに携わったことがきっかけで、農業に興味を持ちました。その後、2015年に帰郷し、大館市内のトマト農家で就農体験をしました。さらに岩手県の農業大学校で2年間農業の基礎を学び、横手市の果樹農家で4年間働いたのち、2020年に帰省し、現在は「収農花」という屋号の畑を一人で運営しています。

▶農業のどのようなところが楽しいですか？



会社勤めの際はパーツごとの作業が多かったのですが、農業は計画を立てるところから収穫まで全て自分の責任で行うところにやりがいを感じています。毎日、作物を見に畑へ行くと、一晩ですごく大きくなるんですよ。去年と同じことをしても成果が違うこともあって、どうしてそうなったのか原因を探っていくのが楽しく、自分の性に合っていると感じています。

▶今後の展望を教えてください。

SNSに作物の様子などを投稿して、お客さんに野菜が育つ過程を見てもらえるようにしています。農業をしていく上で、味はもちろんですが、営業力もとても大事だと思っています。産直へ商品を卸しにいくと、お客さんから直接「おいしい」「お花きれいだね」など言ってもらえることがあり、嬉しくなります。電話注文が来て「この前買って美味しかったから」と言われると、とてもモチベーションが上がります。

今後は漬物やドライフード、野菜のパウダーなどの開発を進めていきたいと考えていて、食品乾燥機や真空包装機を導入した加工場開設について、保健所に相談をしているところです。栽培も加工も一人でやるのは限界があるので、ゆくゆくは農業法人化して、一緒にやってくれる人を見つけられればと思います。

▶就農を考えている人へ、メッセージをお願いします。

大館の農家さん達は、ライバルのはずなのにすごく良くしてくれるんです。同年代の農家さんとも、お互いの畑に遊びに行き、借しもなく情報交換し合うことができます。年配の方もわざわざ畑に来てくれて自分の経験を教えてくれたりするので、すごく恵まれた環境で農業ができますよ。



工藤洋平さん・聖菜さん



屋号：たいようの畑
作付品目：アスパラガス
作付面積：90アール
就農年：2018年



▶就農のきっかけを教えてください。

洋平さん 農業を始める前は、自分は建設業、聖菜は接客業をしていました。お互い忙しくて一緒にいる時間がなかなか取れない生活が不満で、「家族一緒にできる仕事をしたい」と思って農業を始めました。

▶農業のどのようなところが楽しいですか？

洋平さん 全部が楽しいです！夫婦で何でも決めて、自由にやれるので気が楽です。もちろん、最初の3年間くらいは失敗することもありました。農家の先輩やJAの方



に話を聞いてやってみるのですが、農業は聞いただけでは分からないので、自分でやって失敗して初めて気づいて、成長していくものだと思います。また、収穫時期はととても大変です。5月中旬～6月中旬、7月中旬～10月末ごろまでの収穫時期は、朝4時ごろから畑に出て8時に朝採りを終え、出荷や管理をして

午後3時～6時ごろまでまた収穫という感じで、とても忙しいのですが、頑張ったら頑張った分、達成感があります。どっちが大きいアスパラを収穫したかで競ったりしています（笑）忙しさを乗り越えたら、休みの日を決めて慰労もしています。

▶今の仕事を続ける上で大切だと思うことはありますか？

聖菜さん 息子は今3歳なのですが、保育園の送り迎えや、体調を崩したときに面倒を見てもらうのにお互いの実家の手をたくさん借りています。農業を始めたのは息子が2～3カ月の頃で、周囲の協力がなかったらできなかったと思うので、子育てに協力してくれる人がいることが必須だと思います。ちなみに、屋号の「たいよう」は息子の名前なんです。

▶就農を考えている人へ、メッセージをお願いします。

洋平さん 農業はお金がかかると思われがちですが、作物によっては0円からスタートすることができます。小さく始めて、利益が出るようになったら少しずつ手を広げていくことができます。「あまり大きいことを言わない！」と周りから言われてしまいそうなのですが、自分はいつか大きいトラクターで広大な農地を耕したいな～と思っています。農業従事者は高齢者が多いので、若い人が増えてくれたら嬉しいです。



地域おこし協力隊制度の活用「大館モデルの提案」

1～3年目 地域おこし協力隊 【給料17.5万円】

新規就農を目指し、協力農家の指導のもと栽培技術を研修し、たくさんの農家・農業関係者と関係し地域に溶け込みながら、やりたい農業を見つけるための時間として活用。稲作や園芸、畜産、果樹など大館にはいろいろな経営が見られ、任期中に教えを乞う。



4～8年目 新規就農者 【150万円／3年間】

やりたい農業を見つけ、青年等就農計画による5年間の農業シミュレーションを作成する。新規就農期間は、補助、融資制度が多いため、必要な農機や設備、施設等を導入し、夢に向かって農業の経営を開始する。また地域の青年農家等との交流・仲間づくりも図る。



9年目～未来 認定農業者 【農業経営の拡大】

新規就農による農業経営の安定化が図られ、地域の担い手として、農地の集約化や複数の農作物を経営する複合型経営を目指し、農地の拡大やそれに伴う機械・設備を補助制度等を活用して導入する。労働力として従業員を新規雇用するため、周年農業等を検討する。

新規就農者支援

(1) 経営発展支援事業（国県）

機械・施設、家畜導入、果樹改植などの事業費のうち、4分の3（上限750万円）補助します。

(2) 経営開始資金（国）

新たに農業経営を開始する場合、150万円／年を3年間支援します。

(3) 農業機械、施設購入補助（県市）

毎年、多様な農業機械、施設設備の購入に対して、多くの補助金制度があります。次の一部の外、秋田県と共同補助なども用意していますので、いつでも相談ください。（一例を紹介）

①スマート農業機械補助、②園芸農機具・施設補助、③畜産設備等補助、④6次産業化設備補助等々

(4) 青年等就農資金（日本政策金融公庫）

機械、施設、農地購入等の資金として、最大3,700万円を無利子で借りることができます。



堀籠 正司 さん

神奈川県小田原市から転入
令和4年8月に着任

前職経験を活かし、マーケティングを図りながら、高付加価値の作物や加工品を研究。県農業試験場や研修センター、県立大学の農業講座の研修を受けながら、スキルアップを実施中。県内では少ないイチゴ栽培に着目し、現在市外の農業法人で研修を受けている。

長岡 杏莉さん

秋田市から転入
令和5年4月に着任

農業初の女性隊員。生まれは大館。ネギや果樹を中心に研修。農産物加工や直売所に興味を持ち、積極的に活動。珍しいラズベリー農家の継承者として研修に励んでいる。

先輩隊員の上村烈さんと結婚し、夫婦で農林業の担い手として活躍中。



高村 整 さん

千葉県船橋市から転入
令和4年11月に着任

大館の誇る比内地鶏を継承するため、先輩農家に師事し、ノウハウを得ることに注力し、将来の独立経営を目指す。

前職の塾講師経験を活かし、子供たちへリモート家庭教師を実施している。

定住活動としても、良縁に恵まれ婚姻し、大館に根を張ることになった。



大西 貴子 さん

東京都立川市から転入
令和5年8月に着任

海外居住や外資系企業の職歴を活かし、農産物の海外ニーズ調査やマーケティング分析を図り、輸出の可能性を模索中。また、県内外への農産物流通の戦略も検討しながら、販路開拓等も目指す。農業経営面における分析も図りながら、儲かる農業の仕組みづくりに奮闘中。



最後に…

農業のおかれる状況は厳しいものです。

世界情勢の悪化から肥料、薬剤や燃料費の高騰、機械の部品不足、異常気象による生育不良など。

しかしながら、農業を始めとした一次産業の担い手不足は顕著であり、今後さらに減っていくものと考えられ、重要な産業となることは間違いありません。厳しい環境下ではあるものの、やりがいと国民の食糧確保の使命をもって、慣習にとられない農業をはじめることが大事と思います。

現在のプロダクト・インからマーケット・イン、加工品や有機農業による付加価値の向上、インターネット販売、スマート農業など、いろいろやりたいこと、楽しみも増えてくると思います。

市としても、新規就農者への支援の拡充を図り、共に盛り上げて参ります。



(生成AI技術により作成した農業画像)